

変更申請 記入例

＊ ＊ 提出書類 ＊ ＊

- ①活動計画書(申請時提出 活動計画書を元に作成)
- ②変更計画図(施業場所に変更がある場合のみ)
- ③採択変更申請書
- ④採択決定前着手届(変更用)
- ⑤資金繰り予定表



【 変更申請 】

* 採択変更申請書提出(別紙3 様式16号)

- ① 対象森林の変更・面積の増減
- ② 機能強化タイプの距離(m)の変更
- ③ 資機材・施設の整備の内容変更
(但し、交付金減額や数量の減は除く)

提出書類

- ・ 採択変更申請書(別紙3 様式16号)
- ・ 活動計画書(別紙3 様式11号)

①と②は変更内容を追記した計画図も必要

- ④ 活動の中止または廃止
- ⑤ 上記以外で採択交付金額の30%を超える減額→採択変更申請書のみ

* 採択変更申請書(届出書) 提出

- ・ 採択変更申請書(届出書)(別紙3 様式16号)作成。
- ・ 上掲①から⑤で採択交付金額の30%以下が減額となる場合。
- ・ 上掲①から⑤以外の要件で採択金額が1円でも下回る場合。

変更申請書は最初から(届出書)と記載されています。上記変更申請の場合は、文面から「届出」の文字を削除して、作成してください。

(例) ・経費がかからなかった。

・作業効率が良く、人件費がかからなかった。

- ・ 資機材・施設の設備についても、交付決定金額と変更があった場合、提出が必要です。

※ 出来るだけ減額等の変更が出ない様に、申請時提出の活動計画・資金繰り予定表を基
にしっかりと活動を行ってください。

* (届出書)の場合、実績報告書と一緒に提出が可能。

* 変更申請書右上の 第〇号 の順番に要注意!!・別添管理表にて確認してください。

※必ず本年度のデータファイルに入力してください。

令和6年度 変更申請 提出書類一覧 チェック表

活動組織名: _____

提出書類はデータをダウンロード後、入力して印刷してください。

データは高知県森と緑の会ホームページ→「森林山村多面的機能発揮対策交付金」→「ダウンロード」にあります。

(計画を変更される場合は、まずご連絡ください。)

- ・変更の内容によっては、あらためて審査会を開催し、採択されてから活動となる場合があります。
- ・これ以外にも書類が必要な場合があります。

↓○は全団体必須、△は場合により必要です。

有無	提出必須	提出書類	様式	例	備考
	△	採択変更申請書(別紙3様式第16号) 先に提出した採択申請書とは様式が異なります。	有	有	面積変更、場所変更、森林機能強化の距離変更、資機材・施設の整備内容の変更、総額の30%以上の減額
	△	採択変更届出書(別紙3様式第16号)	有	有	上記以外の軽微な変更
	△	活動計画書(別紙3様式第11号)	有	有	
	△	計画図面	無	有	
	△	資金繰り予定表	有	有	
	△	採択変更決定前着手届 (別紙3様式17号)	有	有	変更申請の採択決定後すぐに活動する場合

《記入例》

活動計画書

(変更)

青字は記入例として変更内容を記載しているため、実際には記入不要

※ 活動2年目の活動組織が下記内容を変更した場合の記入例

1. ○○地区3年目里山→資源利用へ変更
2. △△地区竹林整備を0.4ha追加
3. ～～地区2.0ha追加
機能強化と里山保全

令和5年4月30日策定

令和6年7月30日修正

○○の森保全の会

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

〇〇の森保全の会

2. 所在地

高知県〇〇郡〇〇町〇〇

3. 地区の概要、取組の背景、地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与等

〇〇地区〇〇の森は由緒ある地区だが、地域住民の高齢化等により荒廃が進んでいる。このため地域住民と地域おこし協力隊〇人が「〇〇の森保全の会」を設立し、地域住民の絆の森として森林整備等を進める中で、地域の活性化を図る。

- 〇〇地区のヒノキ人工林（40年生）で間伐の遅れと雑木の侵入が進み、既設作業道も荒廃
- △△地区のかつての筍生産の竹林が、長期間の放置により荒廃
- 地区の主にクヌギからなる薪炭林が、現在は藪化
民家裏山林の整備など地域住民の要望に多様に応えるなかで、
い」との評価もいただいている。

変更前はア：
変更後はイ：下線をひく。

4. 取組概要

- 〇〇地区 : 3.0ha 森林機能強化タイプ（300m）と里山保全タイプ、資源利用タイプ
初年度は、「森林機能強化タイプ」で作業道（幅員 2.5m）の改修により林内アクセス確保
2年目以降は「里山保全タイプ」で、雑草の刈払、と雑木の除伐・集積・処理
3年目は、ア：「里山保全タイプ」で間伐。
イ：「資源利用タイプ」で間伐、集積・処理・一部搬出まで行う。
- △△地区 : ア：1.0ha 3年間を通じ「侵入竹除去、竹林整備」実施
イ：初年度は1.0ha2年目3年目は1.4ha。「侵入竹除去、竹林整備」実施
初年度は歩道（幅員 1m）の整備、倒竹の除去・処理により林内アクセス確保
2年目は、枯れた竹等の伐採・集積・処理
3年目は、古い竹の伐採・集積・処理による本数調査
- 地区 : 2.0ha 初年度は里山保全タイプで森林整備、
2年目 1.0ha、3年目 1.0ha「森林資源利用タイプ」適用
初年度は雑草木の刈払・集積・処理及び作業道（幅員 2.5m）の改修による林内アクセス確保
2年目以降は、クヌギの萌芽更新、搬出した材は薪又はシイタケ原木に利用
- 4.〜地区 : 2.0ha R₅年度追加。「森林機能強化タイプ」で作業道（幅員 2.5m延長
200m）の改修により林内アクセス確保。次年度は「里山保全タイプ」で、雑草の刈
払、雑木の除伐・集積・処理を行う。

5. 構成員の概要

本活動組織は地域の住民を核に作られている組織である。〇〇町〇〇の住民 5 人と△△の 2 人、地域おこし協力隊で構成されている。〇〇地区の〇〇さんは、林業経験も長く、ユンボの資格も持っている。構成員の中には街づくり関係の市民団体に 2 名、環境に関する市民団体に 1 名参加している。職業は林業、農業、自営業などさまざまである。

6. 年度別スケジュール（新規団体の場合は6年度・7年度・8年度の計画を記入）

取組概要	5年度		6年度		7年度	
1. 活動推進費						
2. 実践活動						
A-1 地域環境保全タイプ （里山林保全）	雑草木の 払、集積 処理、作 道の改修		3.0 ha		3.0 ha	
A-2 地域環境保全タイプ （侵入竹除去、竹林整備）	作業道の整 備、倒竹の 除去・集積・ 処理		1.0 ha	枯損竹の 伐採・集積・ 処理 (1.0) 1.4 ha	古い竹の伐 採・集積・ 処理、本数 調査 (1.0) 1.4 ha	
B 森林資源利用タイプ			ha	クヌギの萌 芽更新、薪 材・しいた け原木の伐 採・集積・ 処理・搬出 1.0 ha	クヌギの萌 芽更新、薪 材・しいた け原木、間 伐、集積・ 処理・一部 搬出 (1.0) 4.0 ha	
C 森林機能強化タイプ	作業道の改 修	300 m	作業道の作 設 (0) 200m		m	
		3.0 ha	(0) 2.0 ha		ha	
2-1. 間伐等（除伐・枝打 ちを含む）実施面 積	1.0 ha		(5.0) 5.4 ha		(5.0) 7.4 ha	
2-2. 活動を始める時点 で長期にわたり手 入れをされていな かったと考えられ る里山林を整備す る面積	6.0 ha		(0) 2.4 ha		ha	
D 関係人口創出・維持タイ プ						
3. 資機材・施設の整備等	チェーンソー2 台 刈払い機 2台		(無) 薪割機 1台			

変更前後を2段書き
()は変更前
下は変更後

変更内容が翌年・翌々年に
関わる場合はこちらの計画
内容も変更

※1. 延長には森林調査・見回りを除く。

※2. 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3. 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する里山林の整備を実施している場合は、その里山林の面積を除外し、その年度に新たに該当する里山林の整備を実施する面積を記載する。

※4. 2のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

タイプ名	目標	モニタリング調査方法
地域環境保全タイプ (①里山林保全)	人工林をきれいにしたい (相対幹距比 2 ポイント改善)	木の混み具合調査相対幹距比
地域環境保全タイプ (②里山林保全)	見通しの良い森林にしたい (林縁部からの見通し 20m)	見通し調査
地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)	筍が利用できる美しい竹林にしたい (竹の本数調査 25 m ² 当たり 8 本)	竹の本数調査
森林資源利用タイプ	木質資源を持続的に生産し、利用したい (利用材積量 〇〇m ³)	木材資源利用調査

(注) 目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。施業地・タイプごとに3年計画全体の目標数値を記載する。

8. 年度別実施する安全講習等の名称及び内容

年 度	講習の名称	講習の内容
5 年度	チェーンソー講習会	チェーンソーの操作の基本、整備と目立て、チェーンソーを使った伐採作業に関する講習
6 年度	刈払機講習会	刈払機の安全操作
7 年度	チェーンソー講習会	チェーンソーの安全講習

(注) 安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

9. 安全のために装備する物品名称及び傷害保険の名称

※安全装備

活動参加時は全員ヘルメット着用。
チェーンソーを操作する者は、防護具を着用。

※傷害保険の名称

共栄火災海上保険株式会社（高知森連）
普通傷害保険 準記名方式 通算短期

10. 4年目以降の活動（森林管理）計画

4年目以降も〇〇の森の保全管理を継続して実施。また近隣の住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動も継続し、地域の里山を維持。発展させる予定。

1 1. 計画図（協定の対象としている区域の図面）別添のとおり

追加となった施業箇所、作業道等を計画図に示してください。

施業場所の増減、取組延長の変更、場所の変更はその変更内容が分かる計画図の提出が必須です。

1 2. 持続性向上に向けた取組

- ・ 構成員の確保・育成
活動状況のわかる取組（広報等での PR）を行うことで、活動状況に興味を持っていただき会員の加入の働きかけを行う。
- ・ 活動を継続するための取組
林産物の販売（薪、しいたけ、たけのこ等）を行うことにより、資金の確保に努め活動を継続する。

※活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取り組みについて記載する。

1 3. その他

(1) 写真添付（「写真添付について」参照）

- 竹が 80%以上の竹林
- 長期にわたり手入れされていない里山林など
- 作業道、歩道予定地（起点・中間点など）
- ・ 添付写真無

変更分で今年度作業する山が新たに追加される場合は写真を添付してください。対象の「・」に○印を付けてください。

(2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入がある場合は記載すること。

構成員会費 年 5,000 円

4 年目以降は、薪・しいたけ・たけのこ等の販売収入も充てる。

(3) 委託

対象外

計画図面

国調図面(地籍図)がベスト、無ければ
森林計画図など、縮尺5,000分の1以上の図面

図を拡大縮小せずコピーし、縮尺の数字、該当箇所、取組年度などを加えてください。(手書き可) 面積不明の場合は協議会が提出された図を用いて計測器で測ります。*登記簿や森林簿の面積は実際と大きく異なっていることがあります。

5年度	機能強化タイプ	300m
6年度	里山保全タイプ	3.0ha
7年度	資源利用タイプ	3.0ha

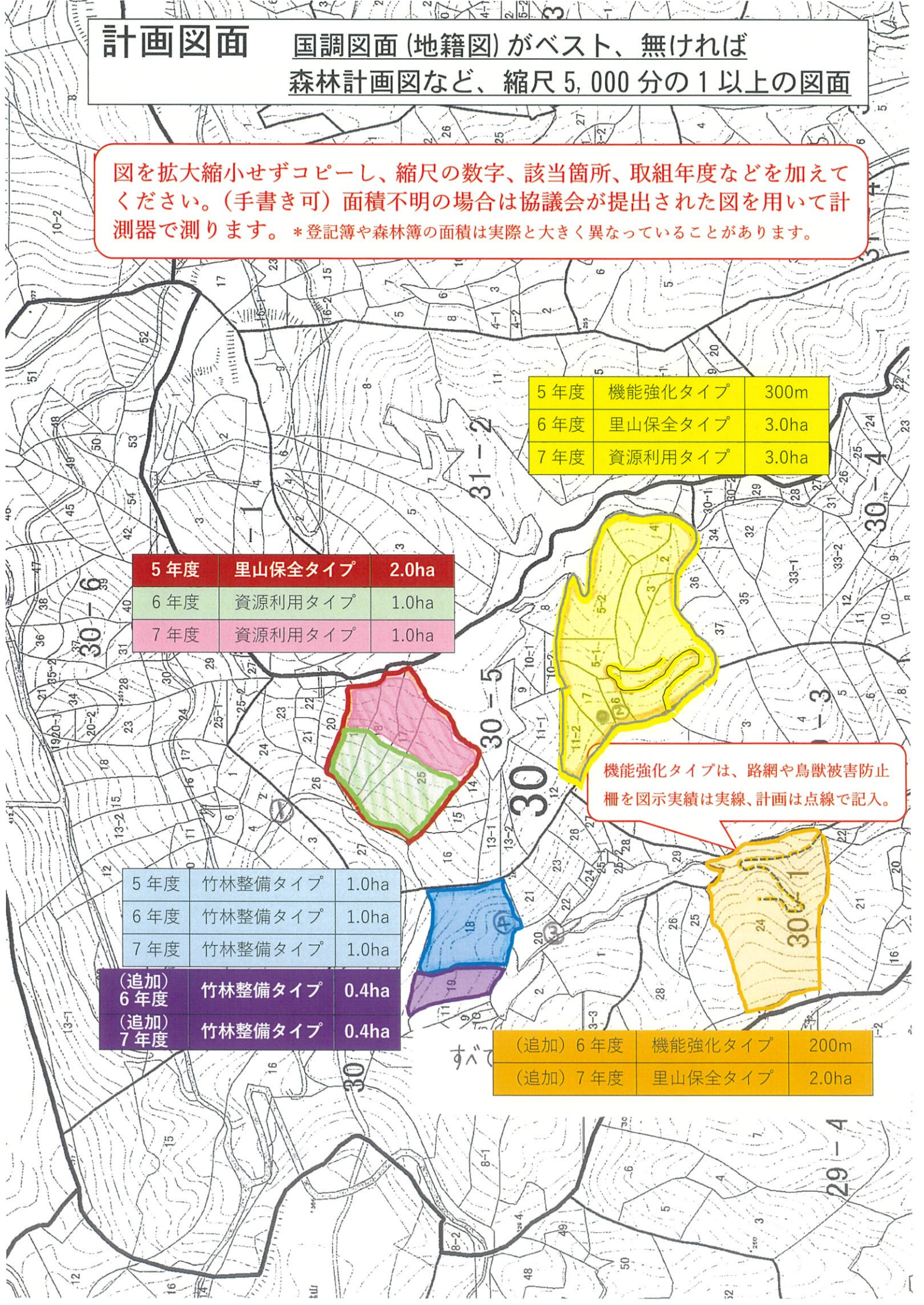
5年度	里山保全タイプ	2.0ha
6年度	資源利用タイプ	1.0ha
7年度	資源利用タイプ	1.0ha

5年度	竹林整備タイプ	1.0ha
6年度	竹林整備タイプ	1.0ha
7年度	竹林整備タイプ	1.0ha

(追加) 6年度	竹林整備タイプ	0.4ha
(追加) 7年度	竹林整備タイプ	0.4ha

機能強化タイプは、路網や鳥獣被害防止柵を図示実績は実線、計画は点線で記入。

(追加) 6年度	機能強化タイプ	200m
(追加) 7年度	里山保全タイプ	2.0ha



(別紙3 様式第16号)

《 記入例 》

直近提出書類の次の番号

第 ○ 号

令和 ○年 ○月 ○日

公益社団法人高知県森と緑の会
理事長 様

高知県○○郡○○町○○
○○の森保全の会
代表 ○○ ○○

令和○年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択変更申請書 (届出書)

森と緑の会から活動組織宛てに届いた採択通知の文書番号。

令和○年○月○日付け○高森緑第○○号で採択通知のあった森林・山村多面的機能発揮対策交付金を変更したいので、森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成25年5月16日25林整森第74号林野庁長官通知）別紙3の第5の6に基づき、下記のとおり採択の変更を申請する (届け出る)。

記

変更内容によって変更申請書か、変更届出書になるかは異なります。変更申請になる場合は、この届出に関する文字は削除してください。

1. 活動組織名

○○の森保全の会

2. 協定の対象となる森林の位置 ※変更箇所が分かるように下線等で記載してください。

高知県○○郡○○町字○472 30林班1小班24

高知県○○郡○○町字○○○ 30林班2小班19

高知県○○郡○○町字○855 30林班2小班18

高知県○○郡○○町字○111-1 30林班5小班1～7・11-2・17～19・25

国+県+市町村の合計で計算・記入

3. 計画変更の理由 (減額の理由) ※減額の場合は減額する金額も併せて記載すること。

*○○町字○472 新規の森林を整備するため追加として機能強化タイプで作業道を200m作設を行い来年度里山林保全で整備を行う。(2.0ha、200,000円追加)

*○○町字○○○の竹林面積を新たに追加、整備を行う。(0.4ha、141,200円追加)

*○○地区1.0haにおいて、間伐したものを薪材として搬出するため薪割機を購入したい。搬出量目標は2年間で○○m³を見込んでいる。

4. 事業費 (活動推進費+各タイプ計+資機材・施設の整備 (本体購入額))

※ 実績報告時に面積減少などによって金額が減る場合は、実績値を記載して下さい。

(変更前)	(965,000)
(変更後)	1,456,200
(差 額)	491,200

計算式入力済の為、入力不要。

5. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

ここから右は計算式がはっています。

取組メニュー	変更前後	森林 面積	国交付金額	県支援額	市町村 支援額	計
初年度のみ						
地域環境保全タイプ (里山林保全)	前	(3.0)	(345,000)	(57,000)	(57,000)	
	後	3.0	345,000	57,000	57,000	
地域環境保全タイプ (林内作業車)	前	(1.0)	(265,000)	(44,000)	(44,000)	
	後	1.4	371,000	61,600	61,600	494,200
	前	(1.0)	(115,000)	(19,000)	(19,000)	(153,000)
	後	1.0	115,000	19,000	19,000	153,000
森林機能強化タイプ	前	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	後	200	160,000	20,000	20,000	200,000
関係人口創出・維持 タイプ	前	(0)	(0)	(0)	(0)	0
	後	0	0	0	0	0
小 計	(変更前)		(725,000)	(120,000)	(120,000)	(965,000)
	(変更後)		991,000	157,600	157,600	1,306,200
資機材・施設の整備等	前		(0)			(0)
	後		0			0
資機材・施設の整備等 (林内作業車、薪割り 機、薪ストーブ又は炭 焼き小屋等)	前	(0)	(0)			(0)
	後	150,000	50,000			50,000
合 計	(変更前)		(725,000)	(120,000)	(120,000)	(965,000)
	(変更後)		1,041,000	157,600	157,600	1,356,200
間伐等（除伐、枝打ちを 含む）の実施面積	前	(5.0)				
	後	5.4				
当該年度に長期にわたり手入 れをしていなかったと考えら れる里山林を整備する面積	前	(0.0)				
	後	2.4				

6. 安全講習等の名称及び内容

講習の名称	講習の内容	実施月
チェーンソー講習	チェーンソーの操作の基本、整備と目立て、チェーンソーを使った竹の伐採作業に関する講習	8月
		月

7. 関係人口創出・維持タイプの活動内容

--

8. 月別スケジュール

取組内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1. 活動推進費								
2. 実践活動								
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)			←————→					
			雑草木の刈払・侵入竹等の伐採					
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)			←————→					
			枯損竹の伐採・集積・処理					
			←——→					
		チェーンソー安全講習						
B 森林資源利用タイプ				←————→				
			雑草木の刈払い・集積・処理、しいたけ原木搬出					
C 森林機能強化タイプ				←————→				
			変更：作業道の作設					
D 関係人口創出・維持タイプ								
3. 資機材・施設の整備			←——→		←——→			
			変更：薪割り機購入					
			チェーンソー購入					

変更の下線をひく。黒字でかまいません。

審査会での採択決定後直ちに活動を行いたい場合は、提出が必要です。

変更申請書の次の番号。

(別紙3 様式第17号)

日付は変更申請書と同じ。

第 号
令和 年 月 日

公益社団法人高知県森と緑の会
理事長 様

高知県〇〇郡〇〇町〇〇
〇〇の森保全の会
代表 〇〇 〇〇

令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金採択決定前着手届（変更用）

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領の別紙3の第5の7の規定に基づき、別記条件を了承の上、下記のとおり提出します。

記

1. 事業費（採択変更申請書の4. 事業費（変更後）と同じ）

〇〇〇〇〇〇円

2. 活動組織名

〇〇〇〇〇〇

3. 着手予定年月日

令和 年 月 日

審査会で採択された 翌日から活動可能。
審査会日が決定すれば、お知らせします。
月日は空欄で提出してください。

4. 採択決定前の着手を必要とする理由

スケジュールに余裕をもって取り組みたい。その為に、資機材も早く購入したい。

(別記条件)

1. 採択決定を受けるまでの期間に天災等の事由によって実施した施策に損失を生じた場合はこれらの損失は採択決定前着手届を提出した活動組織が負担すること。
2. 採択決定を受けた採択金額が採択申請額又は採択申請予定額に達しない場合においても異議を申し立てないこと。
3. 当該施策については、着工から採択決定を受ける期間内においては計画の変更は行わないこと。

←の欄に入力してください。それ以外の色の欄には入力しないでください。

(記入例)

令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金資金繰り予定表

活動組織名 ○○○○○○○○ ◎平均時給(1,000)円

(金額単位:円)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
活動日数(月別)	5	5	2	5	11	11	11	8	58
人役(一日当たり)	5	5	3	2	6	5	5	2	33
日当(一日平均)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
人件費計	125,000	125,000	30,000	50,000	330,000	275,000	275,000	80,000	1,290,000
安全講習 講師謝金		10,000				10,000			20,000
資機材・施設(交付金額)				50,000					50,000
" (自己負担額)				100,000					100,000
委託料									0
消耗品等・その他	0	18,000	2,000	4,000	5,500	3,000	5,000	4,000	41,500
累計	125,000	278,000	310,000	514,000	849,500	1,137,500	1,417,500	1,501,500	1,501,500

事業費以上の金額になる事

※ 消耗品等は購入内訳を記入してください

消耗品(品名等)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
チェーンソー替刃				3,000					3,000
刈払刃					1,500				1,500
安全靴		5,000							5,000
燃料		3,000	2,000	1,000	4,000	3,000	5,000	4,000	22,000
傷害保険		10,000							10,000
									0
									0
									0
									0
消耗品(品名等)合計	0	18,000	2,000	4,000	5,500	3,000	5,000	4,000	41,500

入力する全ての経費は、申請時には予定額を、概算払い申請時には前月までは実績額、翌月以降は予定額で作成してください。